

レジメンcode:	C15-12
適応がん種:	食道癌
レジメン名:	Pembrolizumab+FP
間隔:	3週間

備考

略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与法	投与日
	キイトルーダ	200	mg/body	点滴(30分)	d1
CDDP	シスプラチン(プリプラチン)	80	mg/m ²	点滴(2時間)	d1
5-FU	フルオロウラシル(5-FU)	800	mg/m ²	点滴(24時間)	d1~5

*KETNOTE-590試験ではCDDPの投与は最大6コースまでとし、C15-13キイトルーダ+5-FU併用療法を疾患進行又は許容できない毒性発現まで継続した。

★尿量確保に注意し、必要に応じてマンニトール及びフロセミド等の利尿剤を投与する。

day1【ケモセーフ使用】

1) 生食	20ml		1 A		
					ポート確認
2) 硫酸Mg補正液			1 A		
生食	500ml		1 袋		
	主管①	点滴		2時間	
3) 生食	500ml		1 袋		
	主管②	点滴		2時間	
4) キイトルーダ			200 mg/body		
生食	50ml		1 本		
	主管③	点滴		30分	インラインフィルター必須
5) 生食	50ml		1 本		
	主管④	点滴		15分	
6) ホスアプレピタント	150mg		1 V		
生食	100ml		1 本		
	主管⑤	点滴		30分	
7) パロノセトロン	0.75mg		1 V		
デキサート	6.6mg		1 V		
デキサート	3.3mg		1 A		
生食	50ml		1 本		
	主管⑥	点滴		15分	
8) シスプラチン(プリプラチン)			80 mg/m ²		【ケモセーフ使用】
生食	500ml				総液量650ml以下になるように生食を調製
	主管⑦	点滴		2時間	

9) フルオロウラシル(5-FU)		800 mg/m ²	【ケモセーフ使用】
生食	1000ml	1 袋	
	主管⑧	点滴	24時間
10) マンニトールS	300ml	1 袋	
	▶側管①	点滴	1時間 主管⑧と同時に
11) ソルラクト	1L	1 袋	
	▶側管②	点滴	4時間 側管①に続いて

〈所要時間 ー〉

day2、3【ケモセーフ使用】

1) デキサート	6.6mg	1 V	
生食	50ml	1 本	
	▶側管①	点滴	15 分
2) 硫酸Mg補正液		1 A	
生食	1000ml	1 袋	
	▶側管②	点滴	4時間
3) フルオロウラシル(5-FU)		800 mg/m ²	【ケモセーフ使用】
生食	1000ml	1 袋	
	主管①	点滴	24時間 前日の主管に続いて

〈所要時間 ー〉

day4、5【ケモセーフ使用】

1) デキサート	6.6mg	1 V	
生食	50ml	1 本	
	▶側管①	点滴	15 分
2) フルオロウラシル(5-FU)		800 mg/m ²	【ケモセーフ使用】
生食	1000ml	1 袋	
	主管①	点滴	24時間 前日の主管に続いて

〈所要時間 ー〉

次ページあり

1) 生食	50ml	1 本	フラッシュ
2) ヘパリンNaロック	10ml	1 筒	ルートロック

〈所要時間 ー〉

【文献】

国際共同第Ⅲ相試験(KEYNOTE-590試験)Lancet 2021;398:759-71(PMID:34454674)

【キイトルーダ】

- *インラインフィルター(0.2~5 μ m)を使用する。
- *調製時、又は希釈後に振盪により微粒子が生成される可能性があるため、バイアルは振盪せず、激しく攪拌しない。
- *希釈後の最終濃度1~10mg/mlとする。
- *生食又は5%ブドウ糖に溶解する。同一点滴ラインを使用して他の薬剤を併用同時投与しない。
- *希釈後、25℃以下で6時間以内または2~8℃で合計96時間以内に使用する。
- *有害事象(肺、肝、内分泌障害、皮膚、胃腸、腎、神経関連など)対処アルゴリズムを参照する。
- *臨床試験での検査スケジュール、投与延期または休薬基準を参照する。